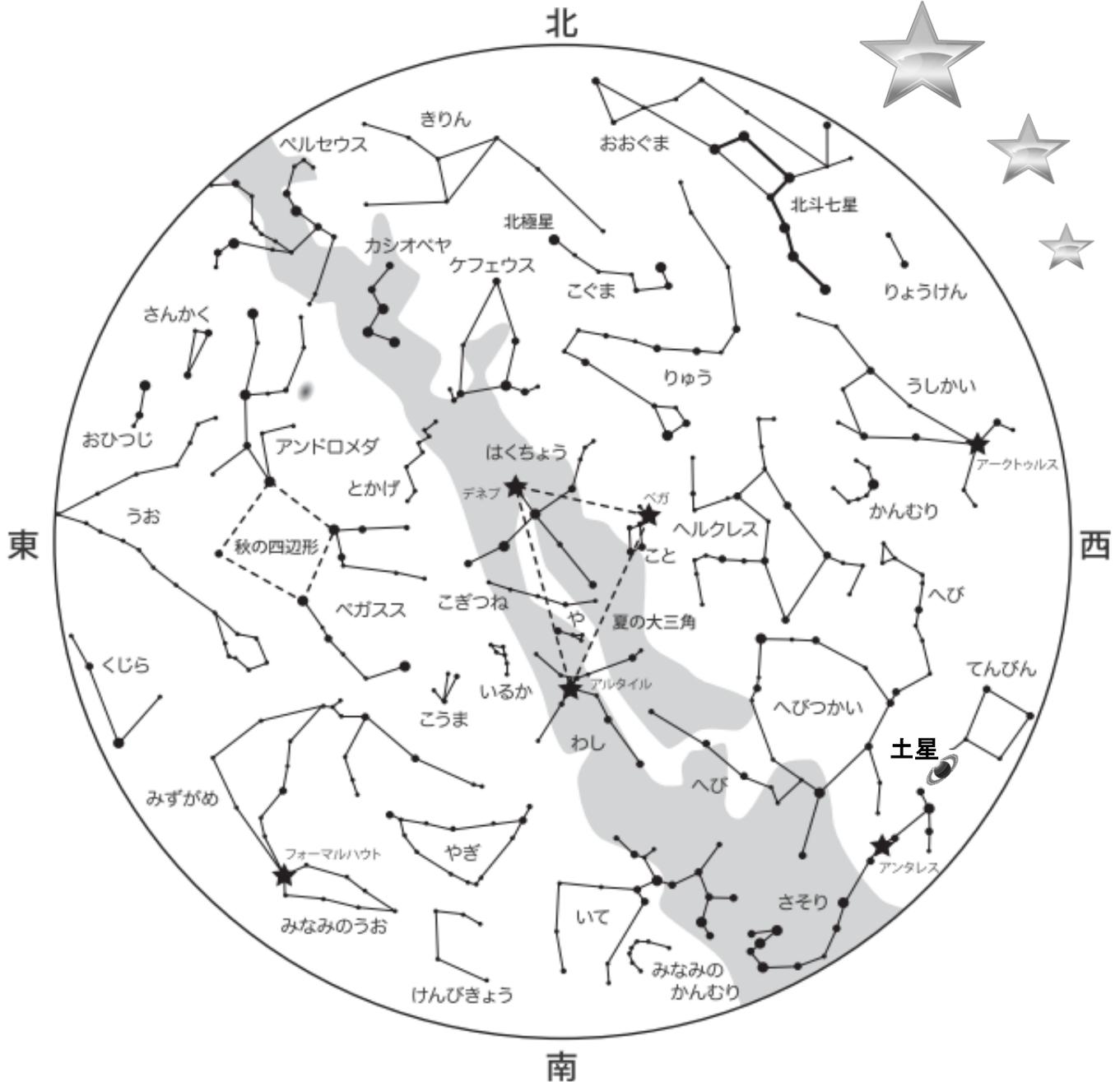


# 松江市立天文台～9月の天文教室～

平成27年9月16日

## 9月中旬午後8時頃の星空～



季節は日に日に秋の色合いを帯びてきました。

夕暮れの空は、まだ夏の星座が見えていますが、東に目を転じると秋の星座も顔を出し始めています。

夏の三角形と、秋の四辺形を同時にを見つけるチャンスです。是非探して見てください。

また、今月の27日は、中秋の名月にあたります。このところ、はっきりしない天気が続いていますが、澄んだ空気の中で月をながめたいですね。

9月中旬午後8時頃の星空です。

土星の位置は9月16日現在のものです。

各天体の見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

## 今夜の月

今夜の月は月齢3、この天文教室が始まるころには、沈んでいます。よく見ると月の影の部分も見えるのが分かります。これは「地球照」といって、地球の光に照らされて見えている姿です。「地球照」は新月の前後4日程度見ることができます。

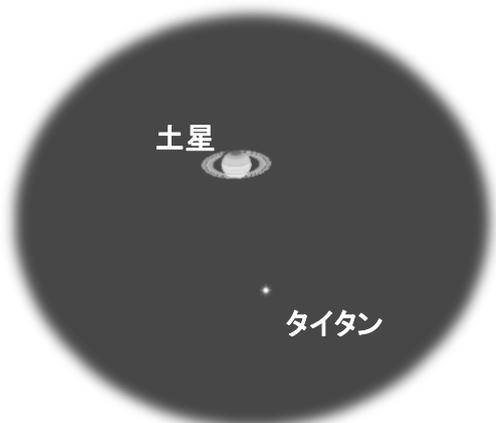


## 土星

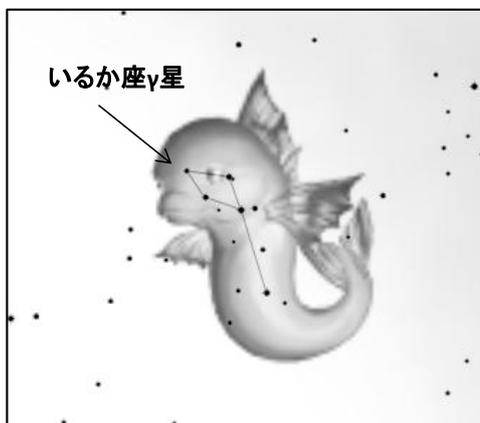
土星は、私たち地球と同じく太陽を中心に回る惑星で、その大きさは、直径約12万キロ(地球の約9.5倍)、美しいリングを持っています。

リングの正体は、数mmから数10cmの氷や岩石で、リングの厚さは数百mとされています。

この夏、神秘的な姿を見せてくれた土星も、日暮れとともに沈むようになり、観望シーズンも今月で終わります。



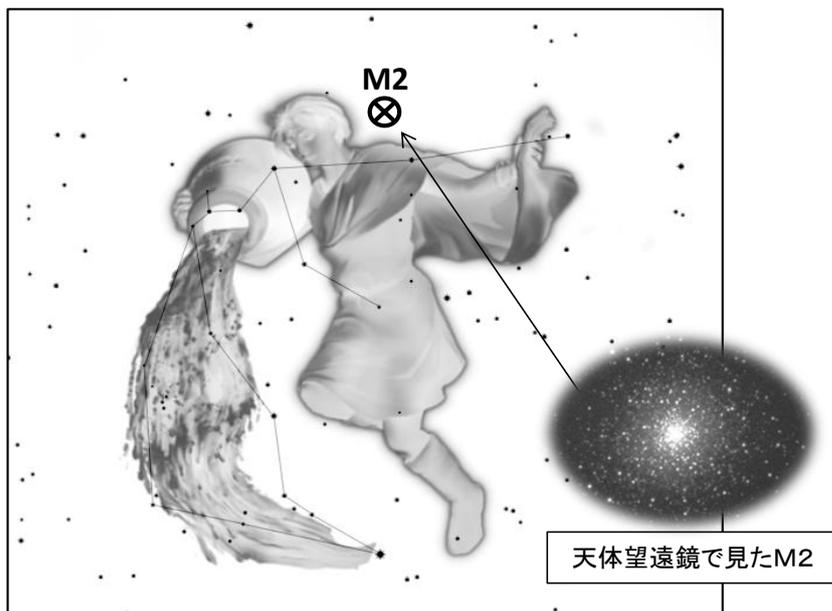
## いるか座



いるか座は夏の大きな大三角の近くにある小さな星座です。

この星座のγ(ガンマ)星は、二重星で、天体望遠鏡で見ると、金色と青緑色の星に分かれて見えます。

## みずがめ座



みずがめ座は、星占いにも登場する星座ですが、あまり明るい星が無いので、街明かりの中では、見つけにくいかもしれません。

M2は、たくさんの星がボールの様に密集している球状星団で、天体望遠鏡では、丸い雲のように見えます。

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

## 次回の天文教室

開催日 10月21日(水) 20時から21時まで  
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)  
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club  
松江星の会